

	今年度取り組む重点的な課題と目標	目標を達成するための活動方針・計画	活動の成果・振り返り
①	<p><b>テーマ：都営諏訪4丁目地区から移転した諏訪5丁目地区への新コミュニティ形成支援</b></p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・転居した諏訪5丁目地区で新たなコミュニティづくりの支援</li> <li>・移転後の課題を把握する。</li> </ul> <p>【背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度11月に諏訪4丁目地区から諏訪5丁目地区に移転した対象者の8割以上が高齢者であった。</li> <li>・移転準備委員会に参加し自治会、社協、JKKと連携しながら個別訪問等、支援を行ってきた。</li> <li>・今後も移転を控えているエリアがあるため、モデルケースとなるよう課題の抽出とコミュニティ形成支援が必要と考えた。</li> </ul> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・転居後に住民主体のコミュニティ形成のための支援を行う。(定期的な通いの場の開催等)</li> <li>・転居後の困りごと等問題の抽出を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会を通じて集会所にて介護予防教室を開催する。</li> </ul> <p>実施の際は、感染状況を鑑みて少人数グループに分ける等の対策をする。その後地域活動や集いの場の開催が出来るよう提案を社会福祉協議会とともに挙げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・転居後の課題抽出のため、生活支援コーディネーターと連携して住民へのアンケートまたは個別の聞き取りを実施する。集計結果から明らかになった課題に関して、民生委員、社会福祉協議会、JKKとの情報共有、連携していく。</li> </ul>	<p>活動の成果・振り返り</p>

	今年度取り組む重点的な課題と目標	目標を達成するための活動方針・計画	活動の成果・振り返り
②	<p><b>テーマ：認知症になっても安心して暮らせる支援</b></p> <p><b>【課題】</b> 高齢者の単身世帯や高齢者のみの世帯が増加し、軽度認知機能低下者の早期発見が難しくなっている。</p> <p><b>【背景】</b> ・エリア内に高齢化率40%を超える地区が5か所（18か所中）あり、高齢者人口増加により、認知機能低下者も増加している。 ・昨年度、地域ケア会議の5ケース中4ケースが認知症に関するケースであった。</p> <p><b>【目標】</b> ・近トレや介護予防教室へ認知症についての普及啓発を行うことで、参加者の認知機能低下の早期発見や互助・共助の理解を深める。 ・地域ケア会議等を通して、関係機関（民生委員・社協・自治会等）の連携を強化し、認知機能の低下者の早期発見や見守りについて一緒に検討する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・慣れ親しんだ通いの場に通い続けられるよう、また「居場所」となるよう担当地区内8か所の近トレを訪問し認知症予防プログラムの提案と認知機能低下についての気づきや支えあいの重要性についての動機づけ支援を行う。また、なんでも相談の中で、困りごとの抽出を行う。</li> <li>・個別相談やなんでも相談、関係機関から寄せられる相談からテーマを選定し、地区連絡会を利用し地域課題会議を開催する。</li> </ul>	

## 令和4年度 東部地域包括支援センター活動方針・計画

令和4年度地域包括支援センターの運営方針に基づき、下記のとおり計画を策定する。

### 総合相談支援業務

高齢化が進む中で、地域で発生する様々な課題について、早期に発見対応していくために、民生委員をはじめとする関係機関との相互に顔の見える関係を深めていく。

#### <必須項目>

【項目】 地域特性に応じたテーマを設定した民生委員連絡会の開催 <small style="text-align: right;">市設定目標の根拠：テーマを設定した連絡会を1回開催(地域課題会議と兼用開催可)</small>	目標値	実績
<b>【実施手段】</b> (テーマ案：コロナ後の困りごと ) 実施にあたり事前アンケートを行い、テーマを設定する。 1月、7月に多摩市第二民協と合同開催する。	2回 <small>(市方針目標値 1回)</small>	回

#### <任意項目>

【項目】出張相談・福祉なんでも相談	目標値	実績
<b>【実施手段】</b> 担当エリア内の近トレ、サロン、介護予防教室、イベント等を利用し開催する。	8回	

**権利擁護業務・虐待防止・消費者被害**

虐待の予防や早期発見に繋がるよう、関係機関への啓発活動(早期発見・早期介入の必要性)を行っていく。  
虐待に至る前に早期に関わることで予防を図る。また消費者被害予防の啓発活動を行う。

<必須項目>

【項目】 権利擁護業務・虐待防止・消費者被害に関する勉強会開催数 市設定目安の根拠: 上下半期に 1 回	目標値	実績
【実施手段】 北部包括・西部包括と共同開催による市内で活動する介護支援専門員を対象にした虐待防止講習を開催する。 虐待に関連した個別ケース会議等開催時に関係機関を対象に開催する。	2 件 (市方針目安 2 件)	件

<任意項目>

【項目】 消費者被害の勉強会の開催	目標値	実績
【実施手段】 地域介護予防教室・近トレ・サロンの消費者被害の出前講座を利用し、啓発活動を行う。	1 件	

### 介護予防ケアマネジメント業務(第1号介護予防支援事業)

要支援者や総合事業対象者になった方について基本チェックリストによって課題となった項目に注視した目標を設定して通所や訪問等の事業を紹介する。  
また、事業を活用することで、自身が達成可能な目標に取り組むことにより、自立への意識づけを行う。

#### <必須項目>

<b>【項目】 通所型短期集中予防サービス(元気塾)利用人数</b> <p style="text-align: right;">市設定目標の根拠:実績と高齢者人口を基に算出</p>	<b>目標値</b>	<b>実績</b>
<b>【実施手段】</b> アセスメント・基本チェックリストにより事業対象となった高齢者に対し、自立支援に繋がるよう事業を勧奨する。	20人 (市方針目標 20人)	人
<b>【項目】 通所型短期集中予防サービス(元気塾)から地域介護予防教室等の地域活動につなぐ人数</b> <p style="text-align: right;">市設定目標の根拠:利用者の7割を想定</p>	<b>目標値</b>	<b>実績</b>
<b>【実施手段】</b> 身近な地域で住民同士の関わりが持てるように、また運動習慣の継続や他者との交流機会が得られるよう多職種で適切に連携し、支援する。	14人 (市方針目標値 14人)	人
<b>【項目】 住民主体による訪問型サービス利用人数</b> <p style="text-align: right;">市設定目標の根拠:実績と高齢者人口を基に算出</p>	<b>目標値</b>	<b>実績</b>
<b>【実施手段】</b> 基本チェックリストの実施やアセスメントにより生活課題の評価を行い、支援に繋げていく。	23人 (市方針目標値 人)	人

【項目】 地域包括支援センター主催による介護予防教室等の開催 市設定目標の根拠: コロナ禍の現状や実績から算出(市様式の報告書を提出)	目標値	実績
【実施手段】 担当エリア内の近トレ、サロン、介護予防教室にて行う。	8回 (市方針目標値 2回)	回

【項目】 元気塾リハビリテーション専門職訪問同行支援の利用 市設定目標の根拠: 実績から算出	目標値	実績
【実施手段】 元気塾・デイサービスの利用時、福祉用具の選定時、必要なサービスの導入に際し利用する。	5回 (市方針目標値 5回)	回

【項目】 介護予防給付において特定のサービス事業所に偏らない 市設定目標の根拠: 他市参考値	目標値	実績
【実施手段】 できるだけ偏りのないように委託する。	占有率 50%未満	%

【項目】 居宅支援事業所に委託する際は特定の事業所に偏らない 市設定目標の根拠: 他市参考値	目標値	実績
【実施手段】 できるだけ偏りのないように委託する。	占有率 40%未満	%

<任意項目>

【項目】 都営の移転した住民に対して新たなコミュニティ作りのため、介護予防教室の開催	目標値	実績
【実施手段】 移転先の集会所にて社会福祉協議会 2 層コーディネーターと協力して開催する。	1回	回

**包括的・継続的ケアマネジメント業務**

地域ケア会議や事例検討、地区連絡会等を通じて個別課題や地域課題を抽出する。課題については、関係機関と連携しながら適切な支援に繋がるようネットワークの構築を図る。

＜必須項目＞

<p>【項目】 支援困難事例等に対する居宅介護支援事業所支援ケース数</p> <p style="text-align: right;">市設定目標の根拠:実績から算出</p>	<p>目標値</p>	<p>実績</p>
<p>【実施手段】</p> <p>居宅介護支援事業所から相談をうける支援困難事例(虐待・介入困難・権利擁護に関するケース)を連携して対応していく。</p>	<p>5 件</p> <p>(市方針目標値 5 件)</p>	<p>件</p>

<p>【項目】地域ケア会議個別ケース会議・地域課題会議</p> <p style="text-align: right;">市設定目標の根拠:実績から算出</p>	<p>目標値</p>	<p>実績</p>
<p>【実施手段】</p> <p>個別事例から地域課題として検討が必要な事例を抽出し、住み慣れた地域での生活が継続できるよう地域ケア会議、地域課題会議を開催する。介護支援専門員や関係機関に参加を依頼し、地域の実態の共有や役割分担を行う。</p>	<p>個別 5 件</p> <p>地域 1 件</p> <p>(市方針目標値 個別 5 件地域1件)</p>	<p>件</p> <p>件</p>

＜任意項目＞

<p>【項目】 適切なモニタリングの実施</p>	<p>目標値</p>	<p>実績</p>
<p>【実施手段】</p> <p>担当ケース件数を均一化し、感染予防に留意しながら確実かつ適切なモニタリングを実施する。</p>	<p>3 ヶ月毎</p>	

## 認知症高齢者への支援

認知症になってもできるだけ住み慣れた地域で過ごせるよう、地域住民や商店へ認知症の理解や見守りについて、普及啓発していく。社会福祉協議会と協働し、商店街との連携体制作りを図る。

### < 必須項目 >

<b>【項目】徘徊高齢者等認知症支援に関する個別地域ケア会議の開催件数</b> <small>市設定目標の根拠: 年間 1 件開催。実績から算出</small>	<b>目標値</b>	<b>実績</b>
<b>【実施手段】</b> 総合相談や介護支援専門員から相談を受けたケースから抽出し、個別地域ケア会議を開催する。	1 件 <small>(市方針目標値 1件)</small>	件

<b>【項目】認知症講座(認知症サポーター養成講座、その他認知症講座)の実施件数</b> <small>※カウント対象 ・前年度に実施していない団体への講座(認知症サポーター養成講座、その他認知症講座)                  ・対象ごとに適切なテーマを設定して実施した講座(その他認知症講座)                  市設定目標の根拠: 令和 4 年度多摩市認知症施策に準ずる</small>	<b>目標値</b>	<b>実績</b>
<b>【実施手段】</b> ・若年層に認知症の正しい理解と見守りの協力を得られるよう、対象者を小学校や学童保育に拡大し普及啓発を図る。 ・分かりやすい認知症サポーター養成講座のチラシを作成する。	2 回 <small>(市方針目標値 2回)</small>	回

### < 任意項目 >

<b>【項目】若年性認知症への支援</b>	<b>目標値</b>	<b>実績</b>
<b>【実施手段】</b> 若年性認知症センターや就労事業所と連携し、本人・家族を対象とした若年性認知症カフェを開催する。	2 回	